

主催：NPO法人 アートキャンプ新潟



公開オーディション



誰にも制限されることなく楽しめるステージ★

「『自分をステージで表現してみたい』こうした思いを抱え、地域でふつつつと過ごされているかたが結構いるのでは？では、その表現できる場を用意すれば、何か面白いコトが起こるのではないか？」そんななんとなくの思いから、パフォーマーの公開オーディションを開催してみようとカタチになったのが「あしたの星☆」です。今回2回目の開催。障がいのある人もない人も、歌、朗読、ダンス、踊り等、14組（内、障がいのない方は3組）の発表と2組のゲストが発表しました。精神障がいの方の詩の朗読など新しい方の参加もありました。江口歩氏（新潟お笑い集団NAMARA代表）・関久美子氏（新潟青陵大学短期大学部准教授）など5名を審査員に迎え、講評と最高の笑顔をいただきます。東京からスペシャルゲストとしてTOMOSUKE氏を迎え、手話ダンスなどのパフォーマンスを行っていただきました。（TOMOSUKE氏：デフ（聴覚障がい

者）ダンサー、サインパフォーマー。2歳で耳が聞こえなくなるが、コミュニケーションの特訓を受けて、健常者と同じ普通学校に通った。13歳の時にダンスを始め、デフによるダンスユニットの活動を経て、現在はソロ。首都圏を中心に、各イベントの出演やサインパフォーマーの指導を行っている。現在、手話歌コーディネーターとして活動中）プロのパフォーマンスに皆さん刺激を受けていたようでした。今回も繰り広げられた数々のパフォーマンスに会場は得体のしれない笑いとかオス感につつまれていました。審査員の江口氏と参加者との気をつかわないやりとりがまた会場を沸かしていました。障がいのある方もない方も（見に来てくれる方も）誰にも制限されることなく楽しめるステージ。「もっと出たい」「舞台を用意してほしい」などのお声がありましたので、次回に乞うご期待ください！

●7月14日(土) 公開オーディション（新潟市北区文化会館）